



モビリティ
Eステーション
Mobility E Station

Wi-Fi パケットセンサーを用いた 東幡豆駅周辺の滞留調査について

1. 本調査の実施者と調査の目的

東海国立大学機構名古屋大学は、西尾市の協力のもと、Wi-Fi パケットセンサーによる調査（以下「本調査」といいます）を実施します。本調査により取得したデータは、東幡豆駅を核とするモビリティハブの形成に向けた、各種取り組みの効果検証の目的に用います。

2. 観測方法・観測データの取扱

本調査では、観測機周辺に滞在する方々が保持するスマートフォン等が発する Wi-Fi 信号に含まれる端末情報（MAC アドレス）に匿名化・暗号化処理を行い、個人を特定できない識別情報に変換して計測します。

この識別情報を用いて、観測機周辺の端末の台数や滞在時間などをカウントします。この識別情報を含む信号には、通信内容や名前、電話番号、メールアドレス等の個人情報は一切含まれておらず、記録されたデータから個人が特定されることはありません。また、通信内容を傍受するものではありません。

観測データの取扱については、右記のプライバシーポリシーを定め、従うものとします。

3. 観測機器の設置箇所

観測機器は、名鉄蒲郡線東幡豆駅前において名古屋大学が運用する「モビリティ Eステーション」に設置します。



本紙の内容は、名古屋大学ウェブサイトでもご確認いただけます。
<https://sipmobi.mirai.nagoya-u.ac.jp/news/hazu-wifisurvey/>

【お問い合わせ】

国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構

教授 三輪 富生

TEL：052-789-3565 ／ E-mail：chosa@trans.civil.nagoya-u.ac.jp



プライバシーポリシー

1. A-MAC アドレスの収集目的と取扱

本調査では、計測エリア周辺に存在する、Wi-Fi 機能を有する機器の MAC アドレスを受信し、それを匿名化（Anonymous MAC Address、以下「A-MAC アドレス」）して記録します。

A-MAC アドレスには個人の名前やメールアドレスなどの、個人を特定する情報や個人間の通信内容は含まれず、元の情報が類推不可能な無意味な文字列への変換（匿名化）を行いますが、本調査実施者は、A-MAC アドレスを個人情報に準じた形で取り扱うこととし、本プライバシーポリシーにおいて、その処理と取扱いを定めることとします。

2. A-MAC アドレスの利用

A-MAC アドレスの利用は、人の動き・滞在の把握を目的として実施し、本プライバシーポリシーに準拠して行います。また、計測の目的達成のため、当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）に情報を提供することがあります。この場合についても、A-MAC アドレスは上記目的のみに利用し、委託業者においても、その委託範囲を超えて利用することはありません。

3. 収集した A-MAC アドレスの管理と保管

収集した A-MAC アドレスは、外部への流出防止、情報の紛失、破壊、改ざんの危険や外部からの不正なアクセス等の危険に対して、適切な安全対策を実施し、保護に努めます。さらに必要な処理が終了した時点で、取得した A-MAC アドレスを消去し、流出防止に努めます。委託業者は、委託された業務を行うために必要な範囲でこの情報を利用することがあります。この場合は、機密保持契約の締結などの方法により、漏えい・再提供の防止などを図ります。

4. 被調査者からの申し出による A-MAC アドレスの消去

計測の実施にあたっては、被調査者が保有する機器の Wi-Fi をオフにすることで、計測を回避できることを明示する（オプトイン）ほか、被調査者が計測された可能性のある A-MAC アドレスの消去を希望する場合は、被調査者の申し出を受けて、当該データを消去（オプトアウト）する方法を準備します。ただし、保存期間を越えた等の理由により A-MAC アドレスの消去処理が行われた等、既に A-MAC アドレスの消去が不可能となった場合はこの限りではありません。

5. 収集した A-MAC アドレスの第三者への提供と安全対策

本調査実施者は収集した A-MAC アドレスを、第三者に対し開示することはいたしません。ただし、本調査実施者が従うべき法律にもとづき A-MAC アドレスの開示を要求された場合（裁判所、検察庁、警察などの法的機関から開示を求められた場合）、本調査実施者はこれに応じて情報を開示する場合があります。

6. 取扱の改善・改良

A-MAC アドレスの取扱については、適宜その改善に努めてまいります。